



唐竹雪化粧 A coat of snow covers Karatake

© photo by Isao Yoshida

## “THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS”

ロータリーの未来は あなたの手の中に

RI会長  
ジョン・ケニー  
2570地区ガバナー  
加藤 玄 静

今を大事に

### 第 2370 例会 2010.1.20

—— ロータリー理解推進月間 ——

天 候 晴 (NO.46-30)

会 長 木川 一 男 幹 事 山川 莊太朗

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当 番 藤原君、細田(徳)君

例会場：飯能プリンスホテル 〒357-0038 飯能市仲町11-21  
☎(042)975-1111

事務局：飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7  
☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662  
<http://www.hanno.jp/~hannorc/> Eメール hannorc@hanno.jp

- ・点 鐘 木川会長
- ・ソング それでこそロータリー
- ・卓 話 稲村嘉夫様

#### 【会長報告】

国内で戦争をしてはいけないと考えていた坂本龍馬は平和的倒幕方法「大政奉還」を土佐藩に提案、徳川慶喜公がそれを受け入れたことで約260年続いた江戸時代は終焉を迎えます。彼は立場の違う人の意見をしっかりと聴き良い部分は吸収するという柔軟な考えの持ち主であったようです。未来に対する明確なビジョンを抱き、誰もが不可能と思うことを実現させる行動力も備え、優れた人脈を幅広く持っていた。それらの裏づけがあって大きな仕事をやってのけた。「日本をいまいちどせんたくいたし申候」というユニークな表現を使っていますが、幕府に危機感を感じ、国の行く末を憂う切実な気持ちを読み取れます。

さて、国民の期待を一身に背負った鳩山内閣ですが、マニフェストと現実の政権運営との狭間で決断力を欠くと言う人もあり、一方デフレ傾向が加速、景気回復への道筋が見えず、人々の不安は溜まる一方。半ば諦めに近い感情を抱く人も少なくないだろうと思いますが、諦めてしまったら何も改善されませんが、不満をぶつけて人を責めても自分の暮らしは良くなる。今の日本には真剣に国のことを思い、自ら立ち上がる、龍馬のような人物が必要なかもしれません。

#### 【幹事報告】

・東清州RCより電話。45周年式典に5~10名参加予定。決定次第再度連絡とのこと。例会変更のお知らせ

人間RC

- ・2/11(木)例会取止(定款6 1 C)
- ・2/18(木)2/13 IMに振替
- ・3/18(木)親睦旅行3/14~15に変更新所沢RC
- ・2/16(火)2/13 IMに振替
- ・2/23(火)親睦旅行2/20~21に振替
- ・3/16(火)例会取止(定款6 1 C)

#### 【委員会報告】

雑誌委員会

神田(敬)君

「友」1月号紹介。先月号から横組P38には前島会員が表紙写真を投稿した「英語版」の案内が載っています。P1、RI会長「ロータリーの折り返し点」。P5~18、ロータリー理解推進月間特集にP・ハリスの6000語に及ぶ随筆が掲載。非常に難しいですが是非目を通して頂きたい。P24~27、7/1発効「長期計画」の内容について。「将来へ向けてもっと大きな夢をもとう」そのための地区やクラブの活性化・柔軟性が強調されています。縦組P2~6、「低炭素社会の日本」大変だと言っているだけではなく、そこにビジネスチャンスが必ずあると述べられています。その他、各クラブの報告が載っています。

